



Saitama Rugby School Magazine

2015年1月号

Head Line

- ★県内スクール紹介「ふくじゅ草総合型スポーツクラブ」
- ★三郷ミニ・ラグビー交流会を開催
- ★ラグールのピッチサイドレポート

2015年1月20日 No.45

発行責任者 鈴木正則

編集 スクール部会広報

県内スクール紹介

「ふくじゅ草総合型スポーツクラブ」



ふくじゅ草 総合型スポーツクラブは、今年11月に設立40年目（不惑!!）を迎えます。「芝植え大会」や「三郷ミニ」へのご協力、日頃のご支援の賜物と感謝し厚く御礼申し上げます。

ラグビースクールのホームグラウンドは、三郷市の江戸川河川敷。多くのラグビー関係者や市民ボランティアの皆さんのご協力を頂き、芝植えから手作りで創った新グラウンドです。手入れを重ねてさらに良いグラウンドにしていきます。

スクールには元気満々の未就学児のDチームから中学生のジュニアチームまで約60名の選手と約50名の指導者（育成コーチ・スタートコーチ、B・C級レフリー、クラブマネージャーなどの有資格者多数）が所属しています。



ふくじゅ草には「卒業」や「卒団」という言葉がありません。進学・就職してもOB・OG達はいつでも好きな時にグラウンドに戻って来られる大切なクラブメンバーだからです。

ミニ・ラグビーの源流（ルーツ）

子供たちにラグビーの楽しさを伝え、安全性と基本を習得させるうえで15人制から「ミニ・ラグビー」への移行は画期的な出来事でした。いち早く「ミニ・ラグビー」の全国への普及活動を推進した当クラブでは、1985年に埼玉、東京、千葉、茨城、神奈川の参加を得て「第1回 三郷ミニ・ラグビー交流会」を開催。今年で30



回目となります。翌年にはNHKスポーツ教室で「ミニ・ラグビー」が特集され、当クラブの指導者・生徒が出演して実演をしまし

た。当時珍しかったマーカーを使ったグリッド練習の方法も紹介され大きな反響を得ました。この放送が「ミニ・ラグビー」の全国普及への大きな流れの源になりました。

教えないで教える 教えないで教わる？

教えたことはすぐに忘れてしまいますが、自分で気づき発見したことは身に付きます。そして子供たちの一生の財産になります。ラグビーは、指示命令ではなく状況に応じて的確に自分で判断をする力と仲間との意志疎通が大切なスポーツです。ですから、ふくじゅ草の指導者たちはラグビーというスポーツを通して子供の自主性を引き出しながら体力・フィットネスや判断力・メンタルなどをトータルに伸ばすことを目標にしています。練習におい

て子供たちに答えを押し付けたり、型に嵌める指導はしません。

失敗体験も成功体験も出来る練習を行い、自分で考えて気づくのを「待つ」こと。「教えないで教える」のがふくじゅ草のコーチングの基本です。つつい答えを教えたくりますが、考えて気付いてもらう工夫と忍耐が求められる指導なのです。

(その先に行く自称ふくじゅ草のレジェンドコーチの一言「教えないで教わる！」もご紹介しておきましょう。レジェンドコーチ曰く「教えているうちはダメだね。俺なんか分かんないから子供たちに聞くわけ。そう教わるんだよ〜。そうずっとみんな教えてるうちに上手くなっちゃうんだな〜。」さすがレジェンド。深いですね。)「心は形を求め、形は心を求める」



学ぶことをやめたら



ふくじゅ草では「学ぶことをやめたら、教えることをやめなければならない」ロジェ・ルメール(元フランス

代表監督)を座右の銘にして、毎月指導者向けの講習会を実施しています。

子供たちの可能性を伸ばし将来をあずかる「未来責任」と同時に、学ぶことの面白さ楽しさも感じています。ふくじゅ草は指導者が様々な学ぶ機会に恵まれているクラブであることに感謝しています。

ふくじゅ草 井尻靖彦

第29回三郷ミニ・ラグビー交流会 1月12日開催

2015年1月12日(成人の日)、三郷市の江戸川北運動公園で「第29回三郷ミニ・ラグビー交流会」が開催されました。昨年11月に開催される予定でしたが、グラウンドの状態が悪く



使用できなかったため順延となり、今回の開催となりました。一昨年まで開催されていた流山橋下のグラウンドは、江戸川の拡幅工事のため利用できなくなり、ふくじゅ草RSが中心となり地域ぐるみで昨年夏、4万株の芝の苗を植えて作り上げたグラウンドが約2km上流の江戸川北運動公園です。

大会は茨城、千葉、埼玉県の22スクールが参加し全94試合が行われました。晴天に恵まれながらも強い寒風が吹き荒れる厳しい環境でしたが、子供たちが元気いっぱいのプレーで寒さを吹き飛ばしてくれました。

浦和RS 山野英彦



ラグールのピッチサイドレポート

大学選手権2nd 帝京大VS朝日大 2014年12月21日(日) 熊谷

レポーターは、東京フェニックスRFCで練習生として参加する佐藤逸(中学3年生)。

大学日本一に最も近いと言われている帝京大と今回は法政を苦ませた朝日大、どれくらいの点差の勝負になるかが楽しみでした。

帝京大の先発に流選手や松田選手の名前がなく少し残念でした。7-7のスコアで前半の半分以上を経過した時は、まさかと思われました。24-7で前半が終了し、このま



まの展開が続くのかとも思いましたが、赤く大きな帝京大よりも朝日大が疲れているように見えました。後半が始まると、その通り帝京大の強さ、速さ、正確さばかりが目立ち、あっという間に点数が積み重なっていきました。私は詳しくはわかりませんが、前半よりも朝日大のタックルが高く、帝京大の選手が一人で進む距離が、かなり増えたように見えました。

結果は、83 対 12 で帝京大の圧勝でした。試合後、スタジアムの周りを掃除している帝京大の選手を見て、プレーだけでなく、見習わなければと思いました。場内、外のどちらも勉強になりました。

<http://www.rc-phoenix.com>

Present

■応募方法

埼玉県ラグビーフットボール協会のお問い合わせメール (info@rugby-saitama.jp) で申込む
subject「サイン入り色紙」希望と記載

本文に①氏名②送付先住所③年齢を記載④希望の番号
当選発表は景品の発送をもって代えさせていただきます。

- ① 豊田自動織機
ライアン・カンコウスキー選手(写真)
アンドリュー・グッドマン選手
吉田伸介選手



- ② サントリー
フーリー・デュプレア選手
スカルク・バーガー選手



- ③ NTTドコモ
渡辺義己選手
ハインリッヒ・ブルソー選手



- ④ 新年特別プレゼント 2点
中身はシークレット??????

